

一般社団法人 SCM共同ネット研究会 代表理事 滝沢保男
〒105-0023 東京都港区芝浦1-13-10 第三東運ビル8F
TEL : 03-5419-8239 FAX : 03-3455-7023 URL : http://www.scm-net.jp



東京都水産物卸売業者協会 中 幸雄氏

一般社団法人SCM共同ネット研究会（滝沢保男代表理事）は第3期下期の異業種の組織活動を進め、戦略モデル「SCM次世代循環型異業種サプライチェーンネット」の5事業の実現に向け水産業界・医薬品業界・通販業界向けの取組みを実施している。

共同ビジネスの受け皿になる、次世代を睨んだ輸送機関の融合化と環境事業との連携を目指し、循環型の共同物流ネットワークの具現化に向けて動き出し、戦略型共同ビジネスの機会創出の拡大を目指し「共同連携・創造・創出・共同実践・成功事例の創出」を目指す。（本部事務局）

改正、②食の安全・安心への関心、③消費構造の変化、④環境問題、⑤高度情報化社会、⑥人口減少・少子高齢化、⑦物流の変化を挙げた。

築地市場の卸7社の市場物流の取扱金額、市場内扱い数量の推移は今後も下降線を辿ることが予想されているが、そこで大きな鍵となるのは、「豊洲新市場が温度管理可能な施設であること」と中氏は指摘。

豊洲新市場は食の安全・安心の高いレベルでの実現が謳われ、温度管理のできる閉鎖型の施設とし、品質、衛生管理を強化する計画だ。

また市場内物流では、荷物や車両がスムーズに流れる市場を目指し、物流動線を整理するとともに駐車場の確保や、加工パッケージ、仕分け・一時保管など、多様な顧客ニーズに対応する施設を設置するとともに、転配送セン

水産業界向けセミナー、2月25日開催

SCM共同ネット研究会は2月25日、水産業界向けセミナーを東京都中央区立築地社会教育会館で開催、約70名が訪れた。

物流に関連するさまざまな業界の課題などを浮き彫りにする「業界向けセミナー」の第2弾となる今回は、水産業界が対象。

冒頭、滝沢保男代表理事が「新市場（豊洲）移転の物流変革に伴う当会の役割」と題し、約30分間にわたり、講演を行った。

「1年前より築地市場から豊洲新市場の移転を睨み、水産業界・築地市場移転サポート支援プロジェクトを発足、活動を実施している。毎月プロジェクト推進会議を開催しており、水産

業・流通循環型共同物流ネットワーク基本構想のプロジェクト活動を進めている」と滝沢代表は、水産業界向けの基本構想を紹介した。

続いては日建リース工業、フリーラン、クロスワンシステムの3社による会員企業の紹介が行われた。

●基調講演 「豊洲新市場の運用～築地から豊洲に移転することとは」

続いて登壇した東京都水産物卸売業者協会の中 幸雄参与は、豊洲新市場に関する環境として、①卸売市場法の



滝沢代表



セミナーの様

ターを設置し、生鮮食料品の首都圏流通拠点としてハブ機能を強化する計画だ。

また環境面への配慮として、省エネルギーの採用や、太陽光発電、緑化、リ

サイクルの推進などにより、環境負荷を低減するほか、多数の観光客を集客するため、「千客万来」施設を整備するほか、魅力ある都市景観を形成するなど、地域のまちづくりに貢献してい

く。

今後のスケジュールとして、土壤汚染対策を平成25年度までに完了するとともに、建設工事に着工し、竣工は平成27年度末を目指すとしている。 **MF**

SCM会員紹介(その26)

株式会社紀文フレッシュシステム

設立：1984年（昭和59年）

代表者：代表取締役社長 本多範光

資本金：3億3200万円

売上高：196億円（2013年3月期）

従業員数：407名（2013年3月末）

紀文フレッシュシステムは、紀文食品の物流部門と情報部門がそれぞれ独立して事業を営んでおりましたが、1993年（平成5年）2社が合併し情報と物流をトータルで捉えることができる企業として誕生しました。

現在では、紀文食品とグループ各社の物流にとどまらず、北海道から九州まで物流センターを開設、センター間を結ぶ幹線ネットワークとエリア支線ネットワークを張り巡らしたチルド物流ネットワークを活用し、惣菜、乳製品、和洋菓子などチルド食品を中心とした共同配送、3PL、物流センター代行事業を積極的に展開しています。

消費者の食に対する「安心、安全、新鮮、美味しさ」へのニーズはますます高まっています。

私たちの基本方針は、物流と情報技術を融合させた独自のノウハウで圧倒

的差別化を実現し、お客さまが成功するために、常にベストなサービス、ソリューションを提供することです。食品メーカー出身である伝統を受け継ぎ、作り手の気持ちで物流を考え、物流がお客さまにとって差別化の武器となるべく、情報機能との連動も視野に入れた、先進的で総合的なチルド物流にも取り組んでいます。

*

日配品であるチルド食品は鮮度が大切な商品です。受注から構内作業、トラックの出発管理、物流の入口から出口まで一連の流れを支えるためには、物流をしっかりサポートできるシステムが不可欠です。私たちの情報システム部門は、日々物流現場担当者の意見に耳を傾け、時には実際に作業を体験しシステムを構築／導入しています。

また、現場担当者の負担軽減やコスト削減を目的として、RFIDやバーコード・QRコードなど自動認識技術を活用した、仕分けシステムやカゴ台車管理システムなどを開発、基幹システ

ムと連携しています。

さらに、ビジネスシーンでの普及が一般化されてきたスマートフォンなどスマートデバイスを活用したシステムにも取り組み、チルド物流のより一層の効率化、円滑な運用に努めています。

このような取り組みの中で開発・活用された有効性の高いシステムは、社内にとどまらずお客さまに販売しています。

*

システム開発・運用においても、社内や紀文グループ内のシステム開発・運用にとどまらず、一般の製造業、流通業、物流業のお客さま向けのシステムを中心に、多種・多様な問題解決に取り組んでいます。

汎用系システムからオープン系アプリケーション開発まで経験を積み重ねた結果、10年・20年以上の長い間お取り扱いをさせて頂いているお客さまもごぞいます。

今後とも、私たちはお客さまの思いを大切にしながら対応して参ります。

株式会社紀文フレッシュシステム

本社：東京大田区平和島6-1-1 東京流通センター センタービル8階

TEL：03-3767-3211 FAX：03-3767-3200

物流拠点数：全国19拠点

URL：<http://www.kibun-fs.com/index.html>

一般社団法人 SCM 共同ネット研究会 新規会員募集中

資料請求・ご相談はこちら ☎ TEL 03-5419-8239 E-mail info@scm-net.jp